

「溶液における分子認識と自己集合の原理」正誤表

2021 年 11 月

11ページ

上から4行目：「フッ素の $2P_z$ 軌道とエネルギーが近い」 → 「フッ素の $2S$ 軌道とエネルギーが近い」

20ページ

2.4.3節のタイトルは「Zスケール」

2.4.3節の本文の冒頭から「Zスケール」を削除

2.4.4節の下から3行目 式(2.3) → 式(2.5)

24ページ

2.6.1から7行目 μ_A が正のとき → μ_A が0でないとき

28ページ

本文の終わりから8行目 (4.3.9項) → (4.4.9項)

46ページ

終わりから4および5行目 2,6-ジフルオロメチルフェニル基 → 2,6-ジフルオロフェニル基

47ページ

図3.13の説明文2行目 2,6-ジフルオロメチルフェニル基 → 2,6-ジメチルフェニル基

48ページ

4行目 コンフォメーションがあり、Iには → コンフォメーションがあり、IIには

5行目 存在するが、IIにはない → 存在するが、Iにはない

49ページ

図3.15 説明文 「slip stackが可能である → stackが可能である」

64ページ

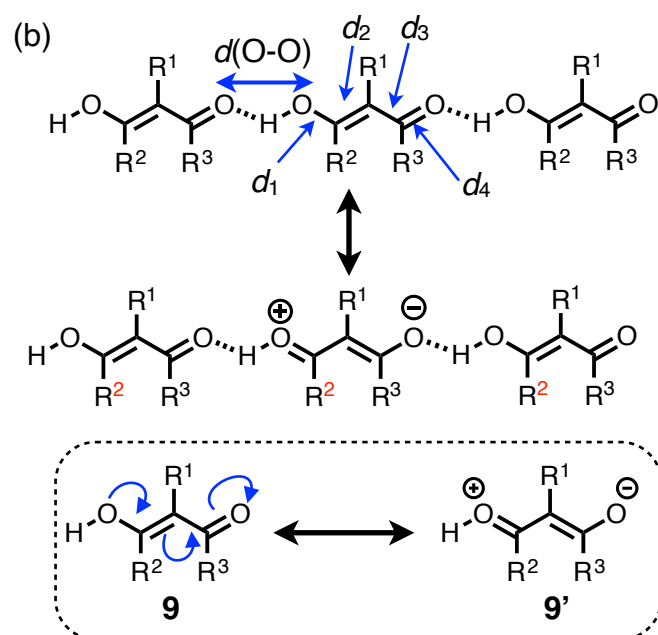
7行目 角 (q) → 角 (θ)

65ページ

6行目 水結合 → 水素結合

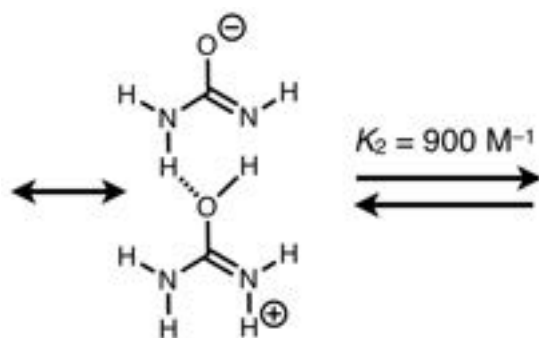
69ページ

図3.29 (b)の図 (下図の赤い部分を追加)



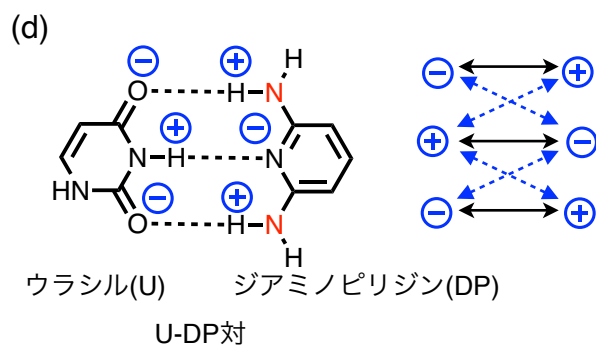
71 ページ

図3.31(c)の図の右から2番目の化学式の修正



73 ページ

図3.32(d)の図の修正(赤字部分)



80 ページ

5行目 式(3.32) → 式(3.29)
 18行目 式(3.32) → 式(3.29)
 21行目 式(3.32) → 式(3.29)
 一番下の行 式(3.33) → (3.30)

81 ページ

8行目 式(3.33) → 式(3.30)

14行目 式(3.34) → 式(3.31)
下から4行目 式(3.34) → 式(3.31)

82ページ

3行目 $\text{IV} \rightarrow \text{III}$
4行目 (3.34) → (3.31)
12行目 III が見られ、領域Iと IV はない → IV が見られ、領域Iと III はない

84ページ

15行目 α 値が小さいためである → α_s 値が小さいためである
16行目 β 値 → β_s 値
19行目 どれも領域 IV は → どれも領域 III は
21行目 α 値も β 値も → α_s 値も β_s 値も
22行目 域 IV は → 域 III は
23行目 式(3.33)で → 式(3.30)で
下から2行目 領域 IV は → 領域 III は

95ページ

下から9行目 静電ポテンシャルを見ると → 静電ポテンシャル表面を見ると
最後の行 協働的 → 協同的

96ページ

下から11行目 (図3.43(a)) → (図3.43(b))

97ページ

図3.43 (b) : 横軸は「温度 (°C)」

98ページ

1行目 振動の温度変化 → の温度変化

99ページ

図3.45(a)の説明文中 エントルピー → エントロピー
図3.45(b)の縦軸 「密度」 → 「体積」

100ページ

2行目 水の特有の性質は水分子間で形成される → 水の特異な性質は水分子間に形成される

108ページ

15行目 限界ミセル → 臨界ミセル

135ページ

図4.2の図の訂正(赤の点線で囲んだ部分)

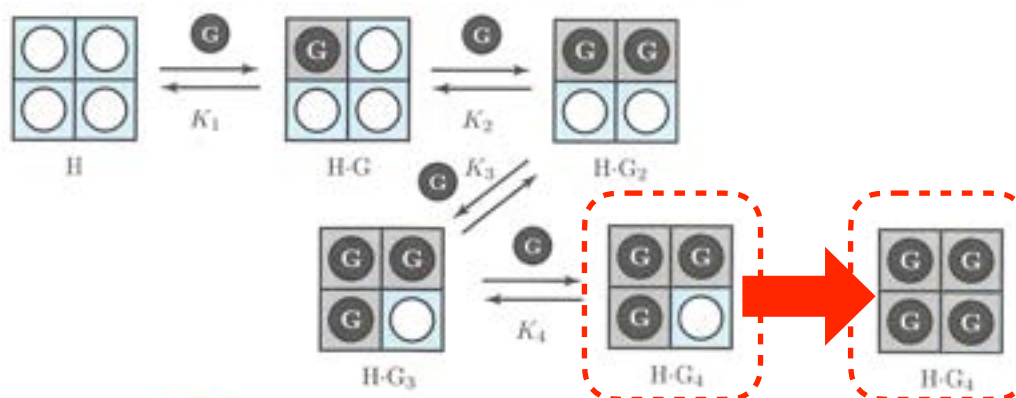


図 4.2 アロステリック協同性の模式図。

146ページ

下から7行目 $d_{xy} \rightarrow d_{yz}$

148ページ

上から3行目 (式4.67) $4\sigma = 2p_{z(O)} + 2s_{(C)} + 2p_{z(C)} \rightarrow 4s = 2p_{z(O)} - 2s_{(C)} - 2p_{z(C)}$

149ページ

上から3行目 「COはC^{δ-}-C^{δ+}と」 → 「COはC^{δ-}-O^{δ+}と」

上から 8 行目「と e_0 軌道である」 → 「と e_0^* 軌道である」

159ページ

1行目 $[G]_0 = [G] - [H \cdot G]$ の関係 $\rightarrow [G] = [G]_0 + [H \cdot G]$ の関係

2行目 $\Delta A = \varepsilon_{\text{H-G}} b [\text{H} \cdot \text{G}] + \varepsilon_{\text{G}} b [\text{H} \cdot \text{G}] \rightarrow \Delta A = \varepsilon_{\text{H-G}} b [\text{H} \cdot \text{G}] - \varepsilon_{\text{G}} b [\text{H} \cdot \text{G}]$

170ページ

上から7行目：「グルコースの数が5, 6, 7の」→「グルコースの数が6, 7, 8の」

171ページ

図4.21(b) 青の破線を示す「 $T\Delta S^\circ$ 」は「 $-T\Delta S^\circ$ 」

173ページ

図4.22(b)の縦軸: ΔG (Kcal mol⁻¹) $\rightarrow$ $-\Delta G$ (Kcal mol⁻¹)

178ページ

下から11行目 繊維 → 線維

183ページ

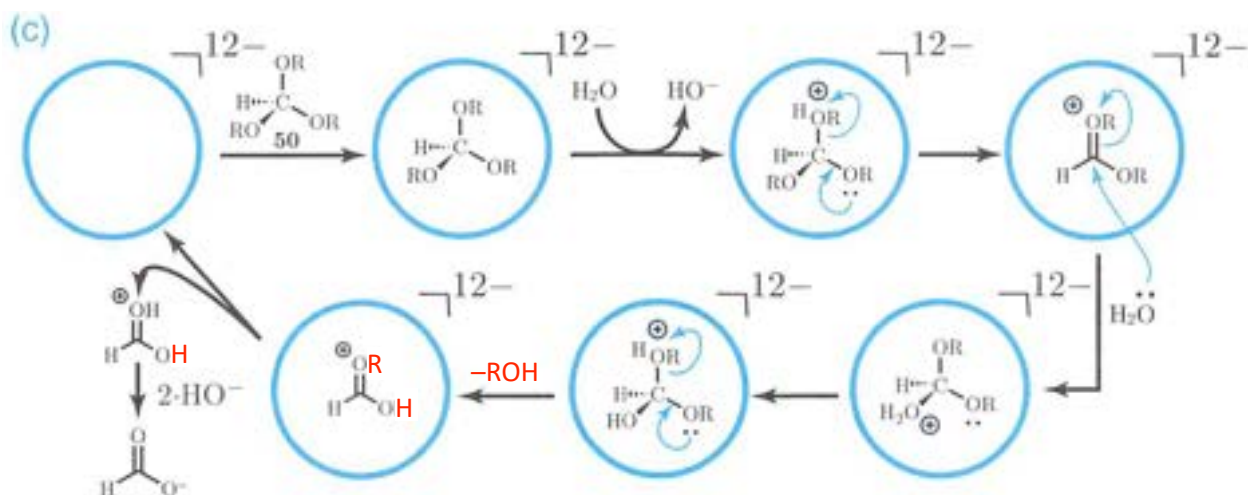
下から5行目 (図5.4(c)) $\rightarrow$ (図5.4(d))

189ページ

図5.6(b)の右下、 $\text{Pd}_{30}\text{L}_{48} \rightarrow \text{Pd}_{30}\text{L}_{60}$

191 ページ

図5.7の(c) 赤字部分のように修正



206ページ

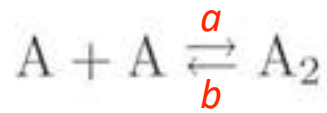
1行目 纖維状 → 線維状

2行目 纖維状 → 線維状

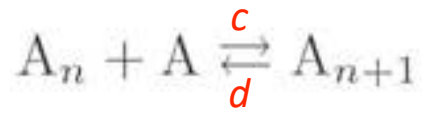
3行目 アミロイド繊維 → アミロイド線維

4行目 纖維構造 → 線維構造

9行目 式(5.1) の反応の右向き矢印の上に”a”を左向き矢印の下に”b”を入れる



16行目 式(5.2) の反応の右向き矢印の上に”c”を左向き矢印の下に”d”を入れる



17行目 繊維形成 → 線維形成 (2箇所)

19行目 繊維状 → 線維状

下から7行目 繊維 → 線維

下から5行目 繊維状 → 線維状

207ページ

1行目 繊維形成 → 線維形成

図5.16の説明文 繊維状 → 線維状